

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 水産 科目 総合実習（船舶運航系）

教科： 水産 科目： 総合実習（船舶運航系） 単位数： 6 単位

対象学年組： 第 2 学年 B 組

教科担当者： 片桐、網谷、木村、倉澤、小原、今西、鈴木、遠藤、佐々木、白鳥、坂場

使用教科書： （ ダイビング （一財）社会スポーツセンター、航海計器、船舶運用 ）

教科 水産 の目標：

【知識及び技術】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興

科目 総合実習（船舶運航系） の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
水産や海洋の各分野について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	水産や海洋の各分野に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	水産や海洋の各分野に関する総合的な知識と技術の実務への活用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ダイビング実習 【知識及び技術】 水産や海洋の各分野について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋の各分野に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関する者として合理的かつ創造的に解決策を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 水産や海洋の各分野に関する総合的な知識と技術の実務への活用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ダイビングに関する知識 ・教材 教科書、プリント、I C T端末 ・指導事項 海洋実習（スクーバダイビング） ・教材 スクーバダイビング機材	【知識・技能】 水産業や海洋関連産業で必要な、基礎的な技術を習得している。 【思考・判断・表現】 海上での安全確保のための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海上を中心とする集団行動を通して自ら学び主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	基礎実習 【知識及び技術】 水産業や海洋関連産業で必要な、基礎的な技術を習得すること。 【思考力、判断力、表現力等】 海上での安全確保のための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海上を中心とする集団行動を通して自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海洋実習（スクーバダイビング） ・教材 スクーバダイビング機材	【知識・技能】 水産業や海洋関連産業で必要な、基礎的な技術を習得している。 【思考・判断・表現】 海上での安全確保のための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海上を中心とする集団行動を通して自ら学び主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○	20
	定期考査			○	○		1
	1 航海計画実習 実習 【知識及び技術】 船舶を安全かつ適切に航海させるために必要な航法や航海計器に関する知識と技術を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 船舶を安全かつ適切に航海させるための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決策を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 船内を中心とする集団行動を通してみずから学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 航海計画実習 （1）岡田港往復航海下調べ ①水路図誌 ②航路標識 ③潮汐及び潮流 ④航海計画 ⑤岡田港往復航海実習 教材 ①海図 ②水路誌 ③潮汐表 ④灯台表 ⑤水路図誌目録	【知識及び技術】 船舶を安全かつ適切に航海させるために必要な航法や航海計器に関する知識と技術を取得している。 【思考力、判断力、表現力等】 船舶を安全かつ適切に航海させるための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決策を見出せる。 【学びに向かう力、人間性等】 船内を中心とする集団行動を通してみずから学び主体的かつ協働的に取組むことが出来る		○	○	30

2 学 期	乗船実習 【知識及び技術】 船舶を安全に運航させるために必要な知識・技術を習得すること。 【思考力、判断力、表現力等】 船舶を安全に運航させるために必要な課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 船内生活を中心とする集団行動を通して、自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海上衝突予防法航法（あらゆる視界の状態における航法、互いに視野の内にある船舶の航法、灯火及び形象物） 海上交通安全法適用航路（浦賀水道航路、中ノ瀬航路、明石海峡航路、備讃瀬戸東航路、備讃瀬戸北航路、水島航路、来島海峡航路、） 港則法適用港通航路見学実習（錨地の指定を受ける国土交通省令の定める特定港、国土交通省令の定める船舶交通が著しく混雑する特定港） 航海当直（見張り、操舵、航海日誌、気象観測） 停泊当直（船内巡視、保安業務、舷門当直） 守錨当直（走錨の検知） 出入港作業（係留、解らん） 錨泊作業（錨地の選定、投錨作業、抜錨作業） 非常配置部署（防火、防水、退船、非常操舵、流出油防除） 航海計器の取扱い（レーダー、ECDIS、VHF、AIS、ナブテックス、インマルサット、GPS） 水路図誌（海図、水路図誌目録、水路誌、特殊書誌） ・潜水 ・生物調査・海洋漂流物調査 ・気象通報 ・教材 大島丸	【知識・技能】 船舶を安全に運航させるために必要な知識・技術を習得している。 【思考・判断・表現】 船舶を安全に運航させるために必要な課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 船内生活を中心とする集団行動を通して、自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。				
				○	○	○	70

3 学 期	定期考査			○	○		1
	1 航海計画実習 実習 【知識及び技術】 船舶を安全かつ適切に航海させるために必要な航法や航海計器に関する知識と技術を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 船舶を安全かつ適切に航海させるための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決策を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 船内を中心とする集団行動を通してみずから学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 航海計画実習 (1) 岡田港往復航海下調べ ①水路図誌 ②航路標識 ③潮汐及び潮流 ④航海計画 ⑤岡田港往復航海実習 教材 ①海図 ②水路誌 ③潮汐表 ④灯台表 ⑤水路図誌目録	【知識及び技術】 船舶を安全かつ適切に航海させるために必要な航法や航海計器に関する知識と技術を取得している。 【思考力、判断力、表現力等】 船舶を安全かつ適切に航海させるための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決策を見出せる。 【学びに向かう力、人間性等】 船内を中心とする集団行動を通してみずから学び主体的かつ協働的に取り組むことが出来る。	○	○	○	80
	定期考査			○	○		1 合計
							240